

ナイトセッション「感性に係る計測評価の標準化」

主催：一財 感性科学協会 共催：日本感性工学会感性計測評価部会

○ 開催日：2025年9月19日（金）

○ 時 間：17時～19時

○ 場 所：4階研修室（B会場）

○ プログラム：

17：00～17：05：開会の挨拶と概要説明 上條正義（信州大学）

17：05～17：20：

発表タイトル：感性計測四方山話 Part 2

講演者（所属）：大倉典子（中央大学）

発表概要：感性計測にまつわるエトセトラを、前回の質問への回答を中心に紹介します。

17：20～17：35：

発表タイトル：感性計測評価の知見を繋ぐ：理学療法の視点から拓く、標準化への対話

講演者（所属）：古川勉寛（医療創生大学）

発表概要：感性計測評価には、製品開発等に応用される多様な知見があります。理学療法の視点を交え、これらの知見を体系的に整理し、分野間の橋渡しを目指す研究を計画しています。本日はその計画をご紹介します、皆様と「共通のものさし」の可能性について意見交換できれば幸いです。

17：35～17：50

発表タイトル：心療内科における脳波・心電図のスコア化手法と感性評価への応用

講演者（所属）：小田 一之（インタークロス株式会社）

発表概要：医療機器メーカーとして心療内科・精神科での生体生理データのスコア化につき多彩な研究者のとの連携により検討した結果をご紹介します（東京都次世代イノベーション創出事業）。質問紙スコアや行動分析から生体生理データへのアプローチにつき感性工学への応用可能性をディスカッションしたいと思います。

17:50～17:55

発表タイトル：建築空間デザインに関連付ける感性計測のV R設計の事例

講演者（所属）：本田司（株式会社ジオクリエイツ）

発表概要：前回の株式会社乃村工藝社との取組みの引続きの事例紹介で、特に建築空間設計に連携させた設計段階のV Rと竣工後の現地での生体計測実験について、緑と木材を活用した、乃村工藝社本社内のリニューアル設計プロジェクトの事例をご紹介します。

17:55～18:10

発表タイトル：建築空間デザインに関連付ける感性計測のV R・A I 開発の事例

講演者（所属）：本田司（株式会社ジオクリエイツ）、染谷朝幸（株式会社日建設計）、下田一久（東京消防庁）

発表概要：「空間」に関連付けた感性計測で特に事業化を進められている、日建設計と共同開発のV Rによる「バーチャル避難訓練」・東京消防庁と共同開発の「住まいの防火防災診断A I アプリ」の事例をご紹介します・話題提供します。

18:10～19：00 ： パネルディスカッション パネリスト：講師 5 名 モデレーター：山口穂高（日本大学）